



第二ぎんなん便り

社会福祉法人つなぐ育成会
本市手をつなぐ作業所
第二ぎんなん作業所
平成29年1月26日発行
第368号

今年もよろしくお願いたします。

○今年が穏やかに1年に

はや1月末となり、大変遅くなりましたが、新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願申し上げます。



今年の元旦は、とても暖かく穏やかでした。昨年は大地震があって本当に大変な年でしたし、次第に寛容さがなくなりつつある世界情勢に不安な気持ちにもなりますが、「何となく 今年はいい事あるごとし 元日の朝晴れて風無し」の石川啄木の歌のように、穏やかでいい1年になることを願っています。



○新成人 ~子どもの20年、親の20年~

1月9日(月)は成人の日でした。作業所は、昨年はいたそうですが、残念ながら今年度は新成人はいませんでした。

各特別支援学校でも、自校の卒業生の成人を祝う会を開いていて、15日(日)には、昨年度までいた熊本支援学校の祝う会に参加しました。会場には、新成人を祝うために、保護者、旧・現職員、関係者など、たくさんの人でいっぱいでした。新成人は、42人中、30人が出席。スーツ姿の男性や振り袖姿の女性で華やかでした。一人一人、抱負やがんばっていることなどを述べましたが、酒を飲んで暴れたり荒れたりする成人式もある中、熊本支援学校体育館の壇上の新成人たちは、その人なりの大人としての自覚や意気込みが感じられとても立派でした。わが子の凜々しいスーツ姿、あでやかな振り袖姿に、涙する親ごさん方もたくさんいらっしゃいました。

大人の人の作業所にいることもあるのか、自己紹介で「あっという間の20年でした。」という感想を話される親ごさんがたくさんいらっしゃったことが、今年、特に印象に残りました。

障がいのない子どもの子育ても、もちろん容易なことではありませんが、障がいのある子どもの子育ての場合は、一つ一つのことや毎日が戸惑いや困難、試行錯誤の連続だったのではないかと思います。

親をはじめから親ではなく、子どもが生まれ、子育てで日々子どもや現実と向き合い、苦労や困難を克服していく中で、初めて親となってい

くものだと思います。わが子の成人・成長を喜ぶと同時に、「よくここまで来れたな。よくがんばったね。」という、ご自身や夫婦、家族へのねぎらいやささまざまな思いがこもった感想ではないだろうか。そう思うと、胸がじーんと熱くなりました。改めて、子どもが20年生きる・子どもを二十歳まで育てるということは一大事業なのだ、成人式は、成人を迎えた本人だけでなく、親ごさんや家族にとっても大切な人生の節目なのだ、という思いを強くしたところです。

そんなことで、挨拶では、「おめでとう」という新成人への祝福のことばとともに、「皆さんのお父さん、お母さん、家族の人に『ありがとう。』という感謝のことばを言ってください。」と、親ごさんには、「よくぞここまで育てて来られましたね。本当にご苦労様でした。」ということをお伝えしました。

新成人、そして、新成人を育てた親ごさんや家族に幸あれ。



初詣、新年会の会食

1月4日(水)が作業所の仕事始めで、6日(金)に初詣と会食(新年会)を行いました。この日も元旦から続いた穏やかな気持ちのいい天気で、徒歩で初詣に出かけました。

始めに、藤崎宮八幡宮に全員で初詣。拝殿で参拝し、おみくじを引いたり、正月の雰



いい年でありますように



今年の運勢は……



カンパニー

気を味わいました。

その後、新屋敷交差点近くの「J ian」を貸し切って会食。バイキング形式でおいしい料理をたくさんいただき、みんなお腹いっぱいになり、大満足の1日でした。



幸せな気分

ハッサクの収穫～販売

○ハッサクの収穫

12月号でもご紹介しましたが、県肢体不自由協会事務局長、松尾様のご厚意により、1月に入ってから、宇城市不知火町松合のミカン畑で収穫させていただきました。



ハッサク狩り

○販売準備 磨き、分類、計量、袋詰め

ハッサクを布で磨くと、皮の油で光沢が出ておいしそうなお姿となります。磨いたハッサクを大ききごとに分けて、袋詰めをして販売しています。



選別・磨き



計量・袋詰め

○無人販売も好調

さつまいもやかぼちゃのときにもしましたが、作業所の前に、無人販売所を設置しています。通りかかった方が買ってくださるようで、毎日コンスタントに売れています。無人販売は作業所の宣伝にもなっています。



作業所前の無人販売

○ご注文をよろしくお願ひします。

収穫したハッサクは結構な量になりますので、いろいろな機会や場で販売していきたいと思ひます。ご注文がありましたら、どうぞよろしくお願ひします。



業務用ファンヒーターを購入

熊本県社会福祉協議会の平成28年度熊本県社会福祉振興基金助成金（小規模団体活動支援事業）の交付を受け、利用者の職場環境の改善のため、業務用ファンヒーターを2台購入し、竹工と缶つぶしの作業場に1台ずつ設置しました。

家庭用とは異なり、4面すべてから温風が強力に出るファンヒーターですので、寒い日の作業もつらくなくなりました。



ストーブを囲んで休憩

パイロットクラブさんからの鏡開き

パイロットクラブ様から、今年も、鏡開きのご支援がありました。

始めにお正月の歌の定番「一月一日」（※「いちがついちじつ」と読む。）と元気の出る歌「愛は勝つ」（KAN）を歌ったあと、ぜんざいが振る舞われました。ぜんざいは大納言小豆を使ったとてもおいしいものでした。

ぜんざいの後は、薄茶のおもてなしもありました。甘さが残る口の中を、薄茶が優しくほぐしてくれました。

パイロットクラブ様の今年度のキャッチフレーズは、「Pick Me Ups」（元気づけ！！）。大地震の爪痕がまだ残る熊本にはぴったりだと思ひました。



おいしいぜんざいでした



薄茶のおもてなし



全員で記念撮影



お矢のり

◇現在、定員に3人の空き

作業所は20人の定員ですが、本日現在、3人の空きがあります。

B型事業所に適した人で現在どこにも行っていない方、または、別の福祉サービスを受けていてB型事業所を考えている方などがいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

◇JA 植木まつりでの販売会

2月4（土）・5（日）に熊本県農業公園で、今年も、県手をつなぐ育成会の企画で出店します。ご都合がつかれる方はぜひお出でください。

今は1年で最も寒い大寒の時期。つらい寒さですが、障がい者福祉の大先達、故糸賀一雄先生の句に、「大寒に耐へて根深の青きかな」というのがあります。大寒の寒さに耐えて根深（ネギ）は青みを増す、人もさまざまな苦勞に耐えて成長するということなのだろうと、若い頃にこの句を知って思ったことでした。寒いときには、やはり暖かい春を待ち望んでしまいましたが、今少し寒さを楽しむ（？）余裕があってもいいのかなと、寒さに震えつつ思うこの頃です。（高橋）

